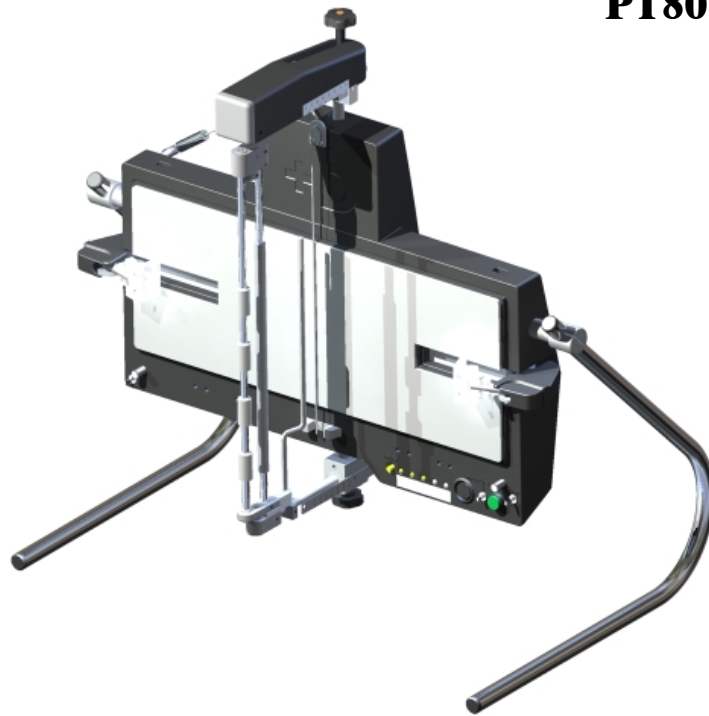


+D Page Turner **Readable 3**

PT80169A



User Manual

+D^{*} ダブル技研株式会社
Double Research & Development Co.,Ltd

〒252-0013 神奈川県座間市栗原 920-7
TEL:046-206-5611 FAX:046-253-7711

目次

1. はじめに	P. 2
2. 安全にご使用いただくために	P. 2
3. 主な機能と付属品	P. 4
□主な機能	P. 4
□付属品	P. 4
4. 各部名称と機能	P. 5
□本体の各部名称と機能	P. 5
□動作ロゴについて	P. 6
5. 組立手順と方法	P. 7
□作業に入る前に	P. 7
□組立手順	P. 7
□高さの調節方法	P. 8
□外部入力スイッチの入力方法	P. 9
□サブスイッチ	P. 9
6. ご使用方法	P. 10
□ご使用上の注意事項	P. 10
□本のセット方法	P. 10
□本のセッティング目安	P. 13
□補助棒の使い方	P. 14
□ページ垂れ防止板の使い方	P. 14
□文庫本のセット方法	P. 15
7. 操作方法	P. 16
□電源の入れ方	P. 16
□リモコンの準備	P. 16
□スキャンモードによる操作	P. 16
□リモコンによる操作	P. 17
8. 保守、点検、保管	P. 18
9. トラブルQ & A	P. 19
10. 仕様	P. 20
11. 適合規格	P. 20
12. Memo	P. 21
13. 保証書	P. 22

1. はじめに

このたびは「リーだぶる3」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この「リーだぶる」は障害のある方がご家族や介助者の方々に気兼ねなく“自由に本を読む”ことを念頭に開発致しました。1998年に初号機を発売開始し、機能だけではなくお洒落なインテリアとしてお客様の日常生活に馴染むようなデザインを取り入れ「リーだぶる3」は完成しました。本の大きさや紙質によって初期設定が必要になりますが、文庫本からA4サイズのリングファイルまでめくることができます。

本書は「リーだぶる3」の概要と機能、操作方法について説明しています。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で操作方法・手順を守って正しくお使いください。また、いつでもご利用いただけるよう、大切に保管してください。

2. 安全にご使用いただくために

本書での表示と図、記号の意味は次のようになっております。記載記号を良くご確認してから本文をお読みください。

ご家族や介助者の方は本製品の使用方法、注意事項を必ず使用者に説明し、使用者が十分に理解した上でご使用ください。



警告！

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、お客様が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意！

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、お客様が軽傷を負う、もしくは物的損壊が発生する可能性が想定される内容を示しています。



禁止！

この記号は、禁止事項を示しています。この禁止マークが記載されている内容は行わないでください。



実施！

この記号は、お客様に必ず行って欲しい内容を示しています。この実施マークが記載されている内容は取扱説明書に沿い、ご家族や介助者の方が行ってください。

* 誤った使用法による故障・不具合は保障の対象外となります。

- * 始動時には、本製品の機能および性能が正常に動作していることを確認してからご使用ください。
- * 本製品を他の製品と組み合わせてご使用になる場合、使用条件、環境などにより、機能および性能が満足できない場合がありますので十分ご検討の上、ご使用ください。また、ご不明な点がありましたら弊社までお問い合わせください。



	●本製品に付属しているACアダプタ以外の使用、または規格外の電源機器での使用は行わないでください。また本製品付属ACアダプタを他の製品に使用しないでください。 発火や故障のおそれがあります。
	●コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。 たこ足配線等の定格を超えた使用を行うと、発熱による火災の原因になります。
	●電源コード・プラグを破損するようなことはしないでください。 感電、ショート、火災のおそれがあります。
	●本製品をご自分で修理、改造を行わないでください。 不具合や破損、火災や感電等の事故につながるおそれがあります。
	●リモコンの上に物を置いたりリモコンを表裏逆さまにして置いたりしないでください。 スイッチが押されりーだぶるが意図しない動作をするおそれがあります。
	●雨中や、湿ったまたはぬれた場所で、使用しないでください。 感電や発煙のおそれがあります。
	●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 感電や、隙間からほこり等が入りこむことによる火災が発生するおそれがあります。
	●電源プラグのほこり等は定期的にとってください。 ほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災が発生するおそれがあります。
	電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



	●本製品は「本」のページをめくるための機器です。それ以外の目的で使用しないでください。 けがをするおそれがあります。
	●「本」をセットしない状態での空運転はおやめください。 本体やページめくりローラーが傷つき、通常の動作に支障が出ます。
	●本体の電源スイッチがONのままリモコンを裏返しにしたり、上に物を乗せたりしないでください。 誤ってスイッチが押され本体が予期しない動きをするおそれがあります。
	●本製品を輸送の際には、必ず専用収納箱をご使用ください。 本製品には様々な突起物が存在し、輸送時に破損するおそれがあります。納入時に梱包してあります専用収納箱は本機の特性を考慮して作成してありますので必ずご使用ください。また修理の際、箱が必要になりますので大切に保管してください。
	●電源プラグを抜くときはコードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くとコードの破損、感電、ショートのおそれがあります。
	●外部入力スイッチは根元まで確実に差し込んでください。 動作不良の原因となります。

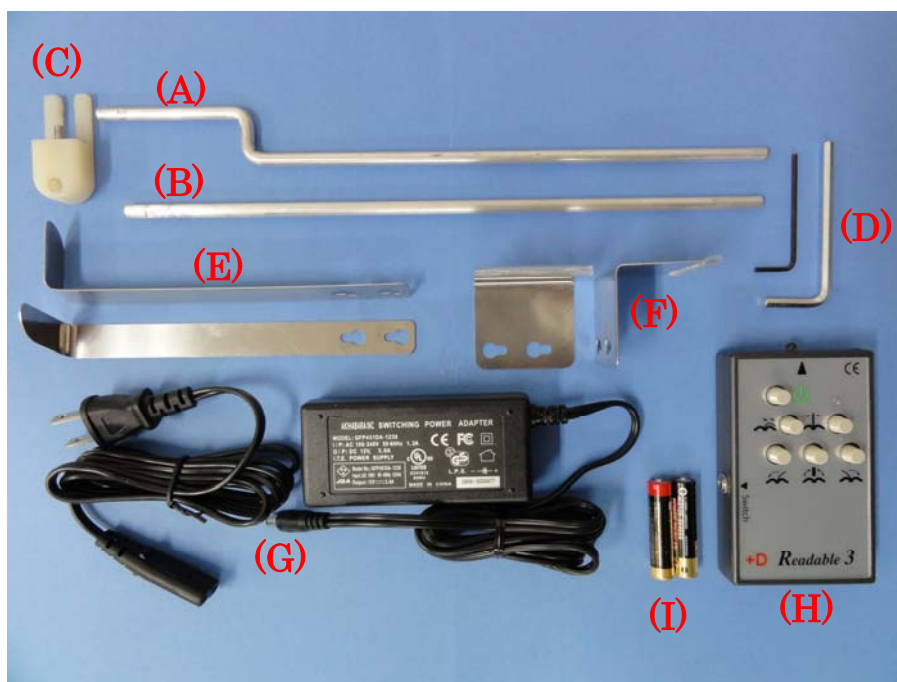
3. 主な機能と付属品

□主な機能

- ページ数自動対応 : 本の厚さ(ページ押さえ板停止位置)に対して、自動対応します。
- 紙破れ防止機能 : めくりローラーユニットに紙が巻き込まれた場合は、センサーが感知して停止します。
- 異常対応機能 : 自動めくり中に、紙のめくり動作以外の負荷がかかった場合または、めくり動作が所定時間内に完了しない場合は動作が停止し、スキャンランプが点滅します。
- 環境制御装置対応 : 環境制御装置をお持ちの方は、学習リモコンに登録してご使用になることが可能です。

□付属品

下記の付属品が梱包されているかご確認ください。また、専用工具はご使用になった後も必ず保管してください。

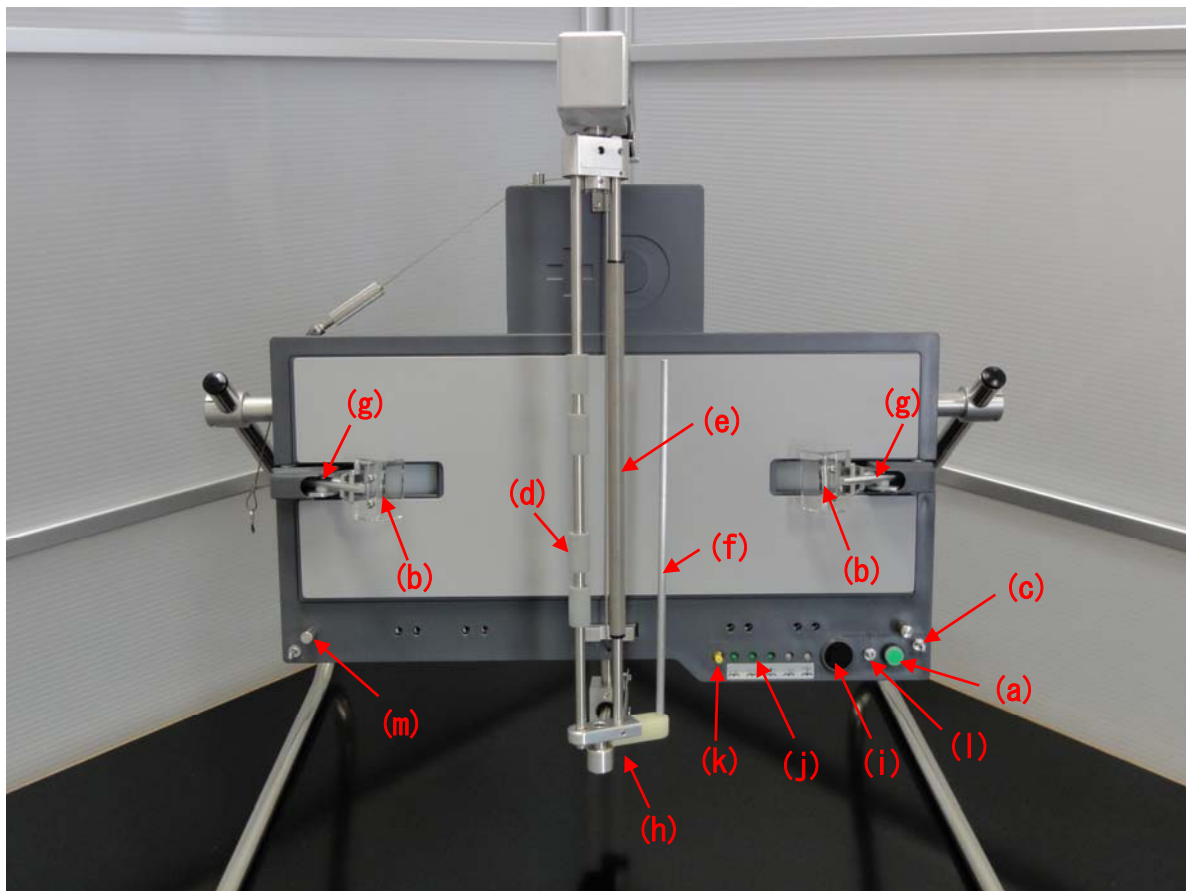


付属品一覧

- (A) ページだれ補助棒 L 型 (個数: 1)
- (B) ページだれ補助棒 I 型 (個数: 1)
- (C) ページだれ修正補助棒取付けブロック (個数: 1)
- (D) 専用工具 L レンチ (個数: 大小各 1)
- (E) ページだれ防止ステー (個数: 2)
- (F) 文庫本専用ステー (個数: 2)
- (G) AC アダプタ (個数: 1)
- (H) リモコン (個数: 1)
- (I) 単 4 乾電池 (個数: 2)

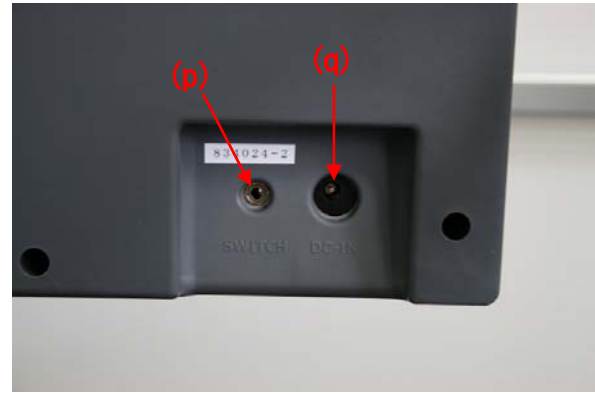
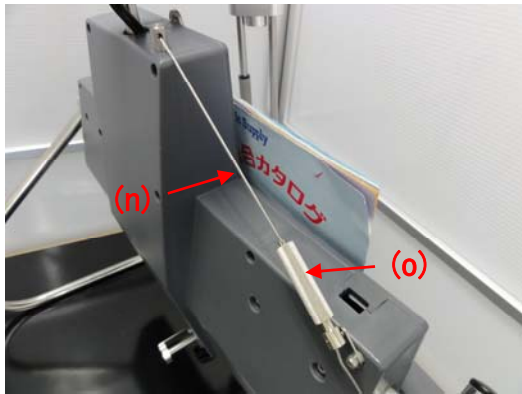
4. 各部名称と機能

□ 本体の各部名称と機能



- | | |
|------------------|----------------------------------|
| (a) 電源スイッチ | : リーだぶる3の電源をON・OFFします。 |
| (b) ページ押さえ板 | : 本のページを押さえます。 |
| (c) スナップスイッチ | : ページ押さえ板を開閉動作させます。 |
| (d) ページめくりローラー | : 回転してページをめくります。 |
| (e) 押さえローラー | : ページめくりの際にページを押さえます。 |
| (f) ページ垂れ補助棒 | : 大きな本のページのたるみを解消します。 |
| (g) 押さえ板固定アーム | : 押さえ板の位置を調整し固定します。 |
| (h) めくりローラー固定つまみ | : 上下2か所ありページめくりローラーの位置を調整し固定します。 |
| (i) リモコン受光部 | : リモコンスイッチから信号を受けます。 |
| (j) スキャンランプ | : スキャンモード時の動作選択に使用します。 |
| (k) スキャン速度調整つまみ | : スキャンランプの点灯間隔を調整します。 |
| (l) 動作切り替えスイッチ | : リモコン入力、スキャン入力の切り替えを行います。 |
| (m) ブックサポートピン | : 本のサイズに応じて付け替えを行い本の下面を支えます。 |

*注記: (d) と (e) を合わせて『めくりローラーユニット』と呼びます。



- (n) ワイヤ : このワイヤで本をリーだぶる3に固定します
- (o) ワイヤテンショナー : ワイヤの張り具合を調整します。
- (p) 外部スイッチ接続ポート : 外部スイッチのジャックをここへ差し込みます。
- (q) 電源ジャックポート : 付属のACアダプタのジャックをここへ差し込みます。

DC IN  ==12V

□動作ロゴについて



○電源

→電源の ON/OFF をします。



○右めくり

→右から左へページをめくります。



○左めくり

→左から右へページをめくります。



○逃げ

→めくりローラーユニットを右、または左へ逃がします。



○たるみ

→大型の週刊誌などのように、紙が大きくて垂れやすい本の場合、めくり終わりのページが弛む事があります。その際にページを引っ張り「たるみ」を解消します。本体のスキャンランプ部の「たるみ」ランプが点灯します。



本の綴じ方、紙質によってはこの動作でページが破けてしまう可能性がありますのでご注意ください。また、連続してこの動作を行うとページが破けてしまう可能性があります。「たるみ」が発生した場合のみお使いください。



○厚紙

→少年漫画のような紙質や他の本でも紙の厚みによってはめくれない場合があります。本のページがめくれない場合にこの厚紙機能をお使いください。本体のスキャンランプ部の「厚紙」ランプが点灯します。

5. 組立手順と方法

□作業に入る前に…

- ・ リーだぶる 3 本体と作業テーブルを傷付けないために専用収納箱の中敷ダンボールの上で作業する事をおすすめ致します。
- ・ リーだぶる 3 に取付けてある各ネジは緩まない程度に締めてください。



注意！

ネジは必要以上に締め付けしないでください。

部品が破損するおそれがあります。

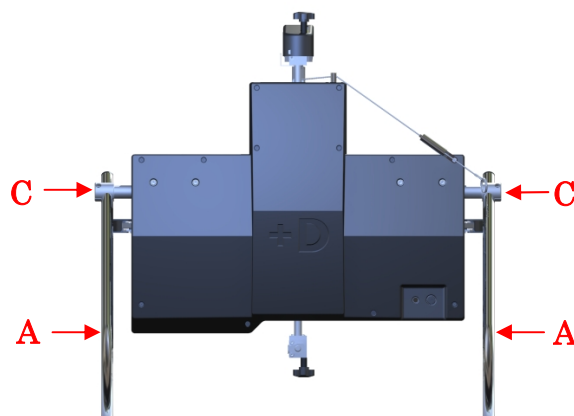
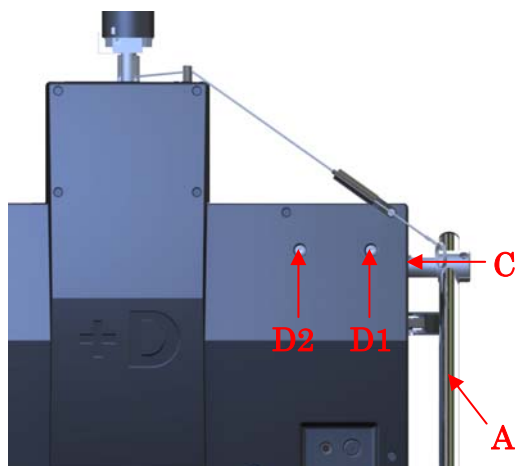
□組立手順



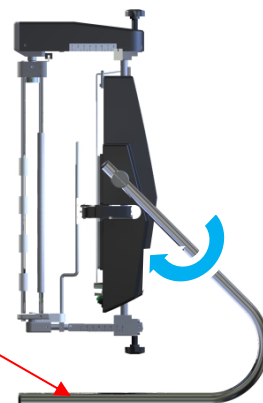
- ① 付属工具レンチ(大)を使用し、左右の (D1) ネジをゆるめます。

【オプション】

アシスタンドへ取り付ける場合は、「リーだぶる 3」背面にある左または右の D1、D2 のネジをゆるめ C の穴へお好みの方向から差し込みます。



- ② (A) の脚を本体側面の (C) 差込口に差込みます。
その際、取り付け方向を間違わないように気を付けて下さい。
- ③ 付属工具レンチ(大)で、(D1) のネジを締めます。
- ④ 機械の両側を持って机の上に立てます。
- ⑤ 次に角度の調整を行ってください。
(D1) のネジを軽く緩めることで本体の角度が変更できます。
- ⑥ 角度が決定したらネジを締め固定してください。



(A) 脚：R/L・取付け方向に注意

□高さの調節方法

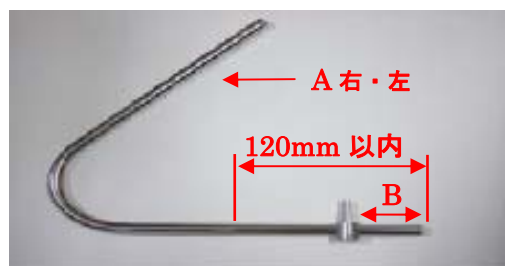


本体に脚を取付けた後、リーだぶる本体の高さが合わない場合、次の手順で高さ調節を行ってください。

- ① (B1) のネジを緩めることでスライドするようになり (B) の長さが変更できるようになります。

(B) の部分の長さが長いほどリーだぶる本体の高さは低くなります。

出荷時には (B) の長さを 40mm に調整して出荷しています。

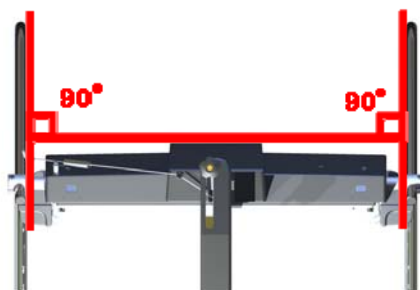


CAUTION

(B) が長すぎると本体が接地してしまいます。(B) の長さは 120mm 以内にしてください。

- ② (B) の長さが決定した後、下記の図のように本体と脚が垂直になるように調整してください。

③



CAUTION

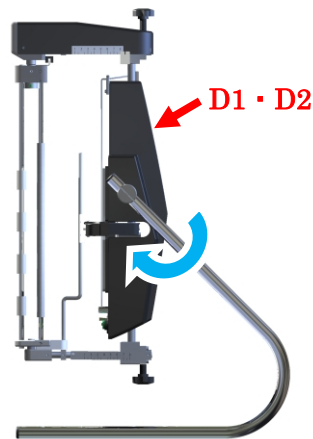
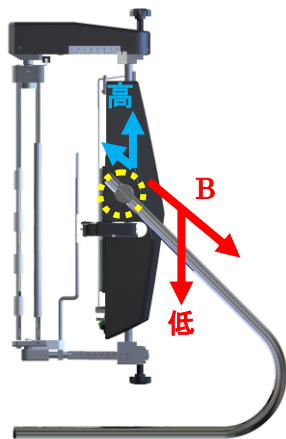
注意！

本体に脚を取り付けたまま作業を行わないでください。

本体が落下し、手などが挟まれるおそれがあります。

- ④ 高さが決まりましたら (B1) のネジを締め、次に角度の調整をしてください。前述した (D1) のネジを軽く緩めることで本体の角度が変更できます。

- ⑤ 後に各ネジがきちんと締まっていることを確認してください。



CAUTION

ネジの緩め過ぎにご注意ください。ネジが外れて部品が取れてしまいます。

□外部入力スイッチからの入力方法



「リーだぶる3」はリモコンを介さなくても本体背面・右下にあるスイッチの接続ポートにお使いの外部入力スイッチを差し込めば、「スキャンモード」でのご使用が可能になります。リモコンの入力信号が入り難い場所などでお使いの場合にご利用ください。



注意！

外部入力スイッチはオプションです。正規品以外のスイッチはご使用にならないでください。

故障や、予期せぬ動作の原因になります。

ご希望の場合には、弊社または販売店までご相談ください。

□サブスイッチ

リモコンスイッチのボタン操作が困難な方は、スキャンモードを用いてページをめくる事ができます。スキャンランプが点灯しているところで、サブスイッチを押すだけで「リーだぶる3」はその動作を行うことができます。

弊社では下記のスイッチをご用意しております。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ・呼吸気式スイッチ | : 息により入力するスイッチです。 |
| ・押ボタンスイッチ | : ボタン部を押して入力するスイッチです。 |
| ・センサスイッチ（各種） | : 静電容量式タッチセンサ等を利用したスイッチです。 |
| ・PPSスイッチ | : 圧電素子または空圧センサーで入力するスイッチです。 |

* その他、上記以外の特殊なスイッチも製作を承りますので、ご相談ください。

6. ご使用方法

□ご使用上の注意事項



注意！

お読みになる本には、あらかじめ開き癖をつけておいてください。

本のページを何箇所か開いて、中央部を上から手のひらで強く押さえます。
この癖を付けると、よりスムーズにページめくり動作を行うことができます。



注意！

綴じ込みはがき、袋とじなどは取り除いてください。

ページをスムーズにめくる事ができなくなります。



注意！

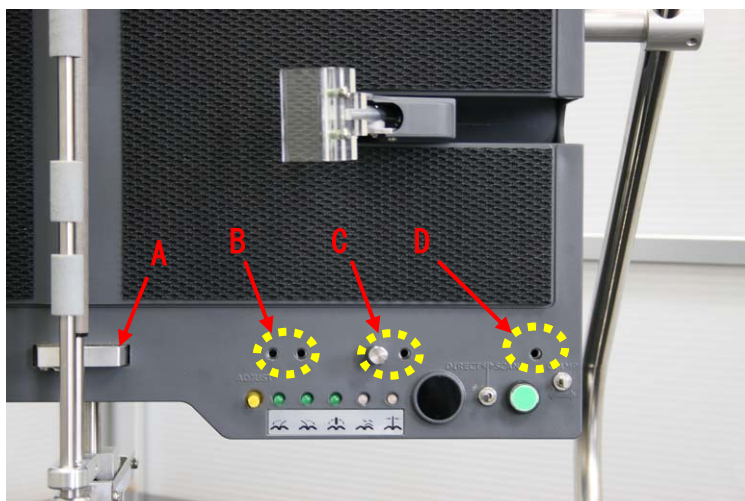
大切な本はおやめください。

本の綴り方、紙の材質によっては本が破損するおそれがあります。

□本のセット方法

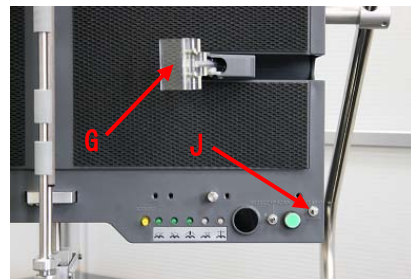


- ① ブックサポートピンの位置を変更します。このブックサポートピンはネジ式になっていますので取り外しの際はピンを回してください。

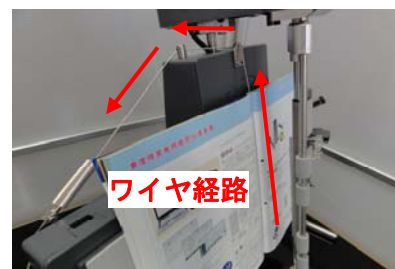
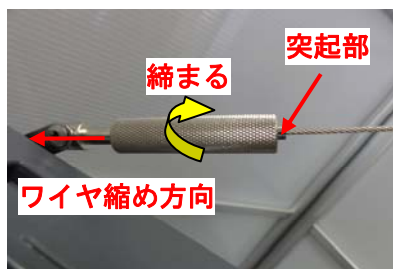


- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| ① 文庫本サイズ | : ブックサポートピンは不要です。 |
| ② A5 版サイズ | : めくりローラーが干渉しない方にピンを取付けてください。 |
| ③ A4 変形版サイズ | : めくりローラーが干渉しない方にピンを取付けてください。 |
| ④ A4 リングファイル | : <u>背表紙幅 30[mm] まで</u> ご使用になれます。 |

- ② 付属の AC アダプタを接続し、電源コードを差込口 (E) に入れ、プラグをコンセントに差し込んでから、電源スイッチを入れます。
- ③ 両側のスナップスイッチ (J) をそれぞれ外側に倒しページ押さえ板 (G) の押さえを外します。



- ④ ワイヤテンショナーの突起の部分を中心に押し込みながら、ワイヤを下に引いて弛ませます。ワイヤテンショナーが締めすぎていると、突起部が硬くなり押し込めません。ワイヤテンショナーを手前方向に回して緩めると簡単に押すことができます。
- ⑤ 本の中央を開いて、本中心合わせワイヤと本体の間をくぐらせて中央に置き、ワイヤを本の中心部に沿わせます。



- ⑦ ワイヤ端のリングを引っ張ります。
- ⑧ ワイヤテンショナー金具を回して締め、本を固定させます。強く締めるほど、本は動きにくくなります。本が動かなくなるまでワイヤーテンションを張って固定してください。
- ⑨ 押さえ板固定アーム・カバーの取扱位置 (H) を持ち、ページ押さえ板ユニットを (G) 方向に倒すと左右に移動する事ができます。左右のページ押さえ板ユニットの位置が決定したら



(G) 方向に倒したユニットを元の位置に戻してください。目安として本の端からアーム・カバーの内側までの距離が 5 mm 程度の位置で固定してください。読み始めのページをセットします。読み始めのページを残し、残りすべてのページを反対側へまとめてください。





CAUTION

注意！

押さえ板固定アーム【各部名称欄(g)】を移動させる時は必ず、所定の取扱い位置を持って移動してください。

カバーの隙間に指を挟みお客様が傷害を負うおそれがあります。



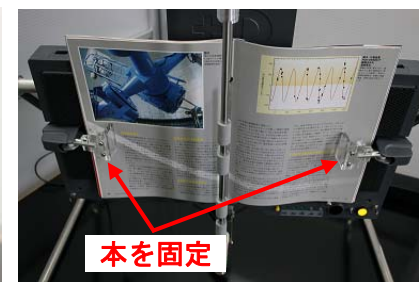
- ⑧ ページが弛まないように手で押さえながら、左右のスナップスイッチ (J) をそれぞれ内側に倒しページ押さえ板【各部名称欄(b)】を動かしてページを固定してください。



(J) スナップスイッチ・左



(J) スナップスイッチ・右



本を固定



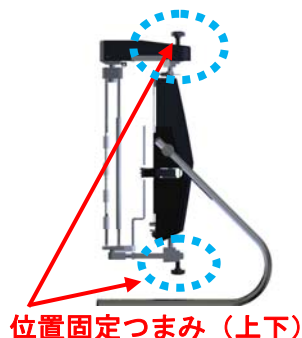
CAUTION

注意！

ページ押さえ板は手で動かさないでください。

部品が破損するおそれがあります。

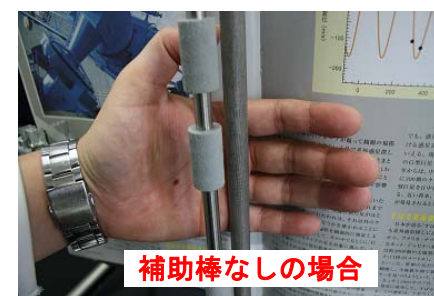
- ⑨ めくりローラーユニットの位置を決めます。上下のめくりローラー位置固定つまみを緩め、本の中央部でめくりローラーユニットをスライドさせ調整します。補助棒もしくは押さえローラーを本から指一本分離した位置が目安です。上下の目盛りの位置は合わせてください。位置が合っていないと上手くページめくり出来ない場合があります。



位置固定つまみ (上下)

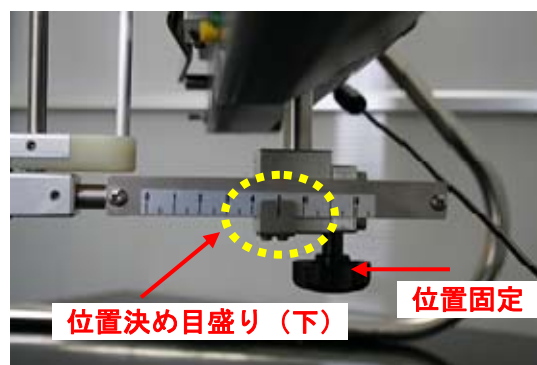
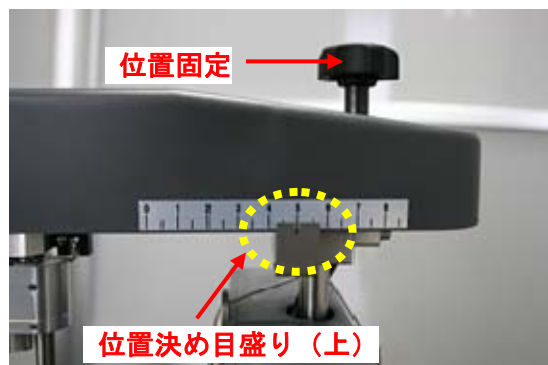


補助棒ありの場合



補助棒なしの場合

⑩位置が決まったら上下のページめくりローラー位置固定つまみを締めてください。



注意！

上下のめくりローラーユニットの目盛は必ず同じ位置に合わせてください。

上下で目盛が異なっているとめくり動作がうまく行えません。



注意！

本体を傾けた状態でめくりローラーユニットの位置調整をしないでください。

ユニットのスライドガイドに指を挟みお客様が傷害を負うおそれがあります。



□本のセッティング目安

本の種類	サイズ (cm)	めくりローラー 上下目盛り	厚紙 対応	たるみ 対応	補助棒
文庫本	11×15	1.5			
ハードカバー	14×20	2.5			
週刊誌	18×26	6.5	○	適時	I 型棒
少年ジャンプ	18×26	6.0	適時		I 型棒
A 4 サイズ雑誌	22×30	6.5	○	適時	L 型棒

* 上記の表はあくまでも目安です。適時、位置を変化させその本の最適なセット条件をお探してください。
本の厚さ(ページ数)でも各固定位置は変化します。

* 本の幅サイズはページ押さえ板の固定位置、本の厚さはページめくりローラー上下の固定位置、紙質で
「厚紙対応」「たるみ対応」のON・OFFが大きく影響します。

* 新条件設定後は、一回のめくり動作で判断せず、数回めくり動作を行ってみてください。次第に馴染んで良くめくれるようになる場合があります

* 上記のページ押さえ板の固定位置はあくまでも目安です。ページの保持ができない場合やページ送りの際に上手く固定できない場合は固定位置を可変してください。

□補助棒の使い方



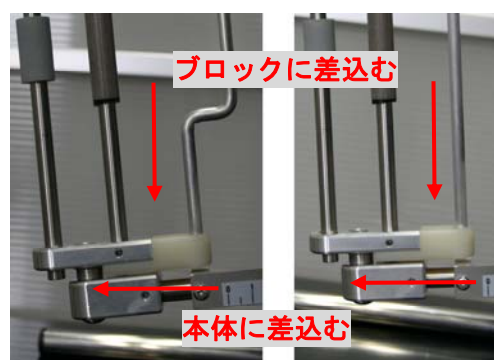
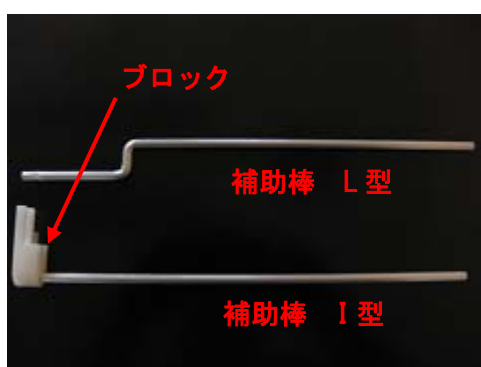
A4 サイズまたはそれに近い大きさの本の場合、どうしても紙が垂れやすくなります。このページ垂れ修正補助棒を取り付けることにより、ページ垂れが修正できます。2 種類ありますので、両方をテストした上で良い方をご使用ください。



注意！

文庫本などの小さい本の時に補助棒を使用しないでください。

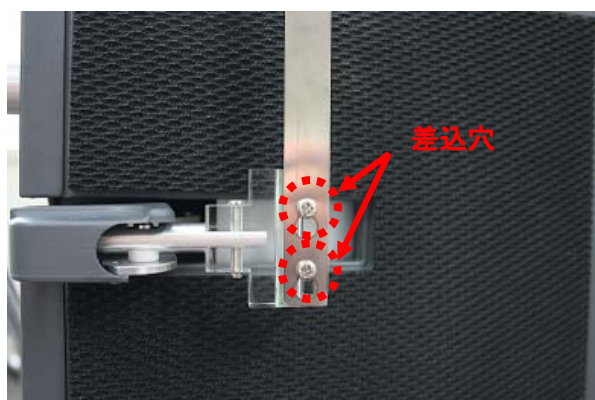
リーダぶる本体と干渉しめくりローラーユニットが回転できなくなります。ご使用にあたって、前述のセッティング目安の表をご参照ください。



□ページ垂れ防止板の使い方



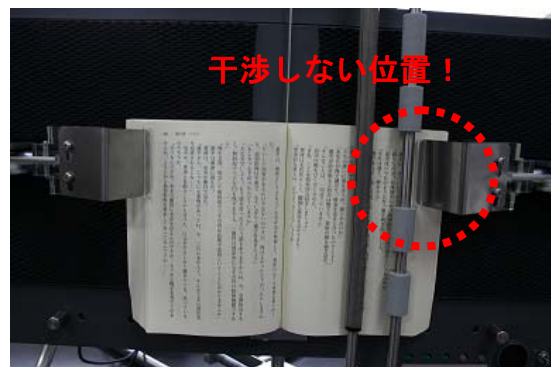
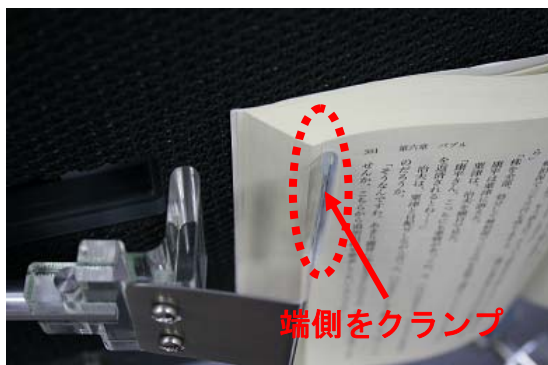
大きな本をセットした場合に、ページ上部が垂れることを防ぎます。ワンタッチで取付け・取外しが可能です。必要ない時は取外してください。取り付け手順は、ページ押さえ板のビスの頭にページ垂れ防止板の穴を合わせて挿入し、挿入後下側にスライドさせることで取り付けることができます。取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。



□文庫本のセット方法



- ① 上記の『ページ垂れ防止板』のセット方法と同じように文庫本専用ステーを取付けてください。文庫本では補助棒を使用しませんので、補助棒と補助棒取付けブロックを取外してください。
- ② 次に押さえ板固定アームを外側にずらし、文庫本をセットします。文庫本のセット完了後、押さえ板固定アームで文庫本を固定します。この時、下記の写真のように文庫本の押さえるページのできるだけ端側に文庫本専用ステーが固定するような位置にしてください。目安は3～5mm程度です。



- ③ 最後にめくりローラーの位置を決定し、固定します。この時、左右のページにめくりローラーユニットを倒した時に左右の固定ステーと干渉しない位置で、固定してください。(文庫本の場合、本の中心から指1本分離れていなくても、めくり動作が可能です。可能な限り離してください)



7. 操作方法

□電源の入れ方

- ① 本体の電源スイッチの状態が OFF になっている事を確認してください。
- ② 電源コードをコンセントに入れ、プラグを「リーだぶる3」本体のジャックに差し込んでください。
- ③ 本体の電源スイッチを押します。電源スイッチの電源ランプが点灯し電源 ON になります。



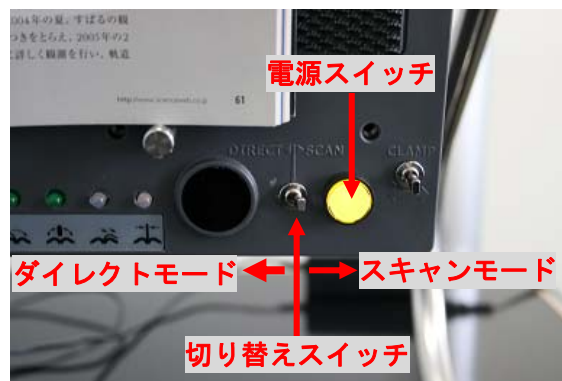
リモコンで電源を操作した場合、本体の電源スイッチは押し込まれたままです。

本体の電源が OFF の場合はリモコンでの電源操作ができないのでご注意ください。

□リモコンの準備

- ① リモコン本体の裏カバーをはずし、**単四乾電池を二本**入れます。電池を入れる際には、電池の＋極と－極の方向にご注意ください。
- ② リモコン操作をする場合、**本体の切替えスイッチをダイレクトモード**にしてから、リーだぶる本体の電源スイッチを入れます。
- ③ リモコンの投光部をリーだぶる**本体の受光窓に向けてボタンを押す**と動作します。

□スキャンモードによる操作



- ① 電源スイッチを押す、もしくはリモコンの電源ボタンを押して、電源 OFF にします。
- ② 切替えスイッチをスキャン側に倒します。
- ③ 電源スイッチを押す、もしくはリモコンの電源ボタンを押して、電源を入れます。



電源スイッチによる電源 ON の場合には、モードが切替わるのに電源を OFF してから約3秒程度待ってから電源を ON してください。

- ④ リーだぶる本体の電源スイッチの電源ランプが点灯し、スキャンがはじまります。スキャン速度調節つまみでランプの点灯間隔を調節します。**右に回すと間隔は長くなり、左に回すと短くなります。**
- ⑤ 希望の動作のランプが点灯した時に、リモコンに接続したサブスイッチを押します。
(リモコンのボタンは電源以外のどのボタンでも OK です。動作はスキャンランプの動作に準じます)
- ⑥ 「たるみ」「厚紙」ランプが点灯中に信号を出すと、ランプの色が赤または緑に変わります。赤の時はその機能が働いていることを示します。
- ⑦ 5 ランプスキャン/3 ランプスキャンの切替え
「たるみ」「厚紙」は一度決めればその本を読み終えるまで、ほとんど変更しないため、「左めくり」「逃げ」「右めくり」の3ランプだけにスキャンを切り替えることができます。「逃げ」ランプ点灯時に長くリモコンのボタンを押したまま(約2秒以上)にすると5スキャンから3スキャンへ、またその逆へ切替えを行います。なお、信号と同時に「逃げ」の動作も行います。

□リモコンによる操作



○電源



→電源の ON/OFF をします。

○逃げ



→めくりローラーユニットを右、または左へ逃がします。

○右めくり



→右から左へページをめくります。

○左めくり



→左から右へページをめくります。

○たるみ



→大型の週刊誌などのように、紙が大きくて垂れやすい本の場合、めくり終わりのページが弛む事があります。その際にページを引っ張り「弛み」を解消します。

本体のスキャンランプ部の「たるみ」ランプが点灯します。

本の綴じ方、紙質によってはこの動作でページが破けてしまう可能性がありますのでご注意ください。



○厚紙



→少年漫画のような紙質や他の本でも紙の厚みによってはめくれない場合があります。本のページがめくれない場合にこの厚紙機能をお使いください。本体のスキャンランプ部の「厚紙」ランプが点灯します。

○スイッチ接続 (▼Switch)

→「スキャンモード」で使用する外部接続スイッチをここに接続すると、リモコンからの出力で ON 信号を送れます。

警告！

リモコンの上に物を置いたりリモコンを表裏逆さまにして置いたりしないでください。

スイッチが押されりーだぶるが意図しない動作をするおそれがあります。

*リモコンで電源を OFF にしていたとしても本体の電源スイッチを OFF にしない限りリモコンの電源ボタンが押されれば再び電源が入ってしまいます。



8. 保守、点検、保管

□保守

ページめくりローラー部分のご使用されていくうちに汚れてきます。

そのままの状態でご使用されるとうまくページがめくれなかったり、本を汚してしまったりするおそれがあるため以下の方法で手入れを行ってください。

- 乾いた布をお使いください。
- タオルなどの柔らかい布で汚れを拭いてください。



注意！

シンナー、ベンジン、アルコール等揮発性のものを使用しないでください。

シールが剥がれたり、変色したりする可能性があります。

□点検

ネジのゆるみ、破損、動作の異常が起きていないか定期的に点検を行ってください。

また、長期間使用しているとめくりローラーユニットのブレーキのネジがゆるみ、スムーズに回転しなくなる場合があります。その場合は以下の方法でブレーキの調整を行ってください。

- ページめくりローラー上部のネジ（下図参照）を付属工具のレンチ（小）で、時計回りに回してください。（ブレーキが強くなります）
- めくり動作を確認しながら、少しずつ行います。



注意！

ネジを締めすぎないでください。

動作不良の原因になりますのでご注意ください。

* その他、部品の劣化や不具合等がございましたら弊社までご連絡ください。

□保管

長期間ご使用にならない場合は、破損等を防ぐため以下の方法を守り保管してください。

- 納品時の専用収納箱に収納してください。
- 温度、湿度の高い所や直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 高い所や不安定な場所に置かないでください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。



警告！

保管の条件は必ず守ってください。

ショート・感電や、思わぬケガ・事故に繋がるおそれがあります。

9. トラブル Q&A

Q1) ページめくりローラーでページがすくえない場合

- A1) 「厚紙」機能を使用してみてください。(厚紙ランプが点灯した状態)
ダイレクトモード : リモコンの「厚紙」ボタンを押してください。
スキャンモード : 「厚紙」ランプ点灯中にリモコンのボタンを押してください。
- A2) ページめくりローラーの位置が離れすぎていたら近づけます。(指一本分ぐらいの空が目安)

Q2) ページがたるんでしまう場合

- A1) 「たるみ」機能を使用してみてください。(たるみランプが点灯した状態)
ダイレクトモード : 「たるみ」ボタンを押してください。
スキャンモード : 「たるみ」ランプ点灯中にリモコンのボタンを押してください。
- A2) 大きな本の場合は、ページだれ修正補助棒を取り付けます。
この場合、めくりローラーの位置を補助棒が動作できるよう本から離してください。



注意！

「たるみ」機能を連続して使用しないでください。

ページが破けたり、本を傷めたりするおそれがあります。「たるみ」が発生した場合のみ使用してください。

Q3) ページめくりローラーに紙がからまってしまう場合

- A1) ページめくりローラーの位置が本から離れすぎている場合は近づけます。

Q4) ページ押さえ板とページめくりローラーがぶつかってしまう場合

- A1) お互いが近づき過ぎています。それぞれの位置が適切か確認してください。

Q5) めくりローラーユニットがスムーズに回転しない場合

- A1) 長期間ご使用していただいていると起きることがあります。
ページめくりローラー目盛りを確認し、上下の目盛りをできるだけ正確に合わせてください。
また、めくりローラーユニットのブレーキのネジがゆるみスムーズに回転しなくなっている可能性があります。その場合はブレーキの調整を行います。
ブレーキの調整方法は P. 18 「手入れ、点検、保管」の点検の項目を参照してください。

*** 本の種類によっては「リーだぶる」をご利用になれないこともありますので、ご了承ください。**

10. 仕様

□定格・使用

① リーだぶる3 本体

大きさ : W 645 × D 245 × H 575 [mm] (最大動作時)

質量 : 8.2[kg]

電源 : DC12[V], 3.8[A]

消費電力 : 5[W]

電源極性 : 

動作温度 : 0~40°C

動作湿度 : 相対湿度 80%以下 (結露の無いように)

② リーだぶる3 専用 AC アダプタ

大きさ : W 44.8 × D 96.8 × H 29.3 [mm]

質量 : 約 175[g]

入力 : AC100-240V, 50/60Hz, 1.2A (Protection Class II)

出力 : DC 12V, 3.8A

安全規格 : CE Marking EN60950

UL Standards E241618

11. 適合規格

□CE マーキング

EMC 指令

低電圧指令

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

Readable 3 保証書

お買い上げ日		年 月 日		
保証期間		納入後1年間		
形式				
製造番号				
お客様	お名前			
	ご住所			
	お電話番号			
販売店	会社名	〒		印
	住所			
	TEL/FAX			
ダブル技研株式会社				
品名		メーカー	形式	個数
アシスタンド		ダブル技研		
アシスタンドMini		ダブル技研		
角度バー		ダブル技研		
サブスイッチ	呼吸気式スイッチ			
	押ボタンスイッチ			
	PPSスイッチ			
	センサスイッチ			
その他				

保証規定

- 取扱い説明書に基づく正常な使用方法で、保証期間内に万が一故障・不具合が発生した場合には無料で修理をさせていただきます。
- 以下のような場合には、保証期間内でも有償修理扱いとなります。
 - お客様においての輸送・移動中の事故（落下・衝撃・荷扱いの不備等々）での故障・損傷の場合。
 - お客様による、使用上の誤り・あるいは不当な改造修理などによる故障・損傷の場合。
 - 火災、風水害、その他天災地変などの外部要因による故障・損傷の場合。
 - 正常な使用方法でも、消耗部品の自然摩耗・劣化の場合。
 - この保証規定は、日本国内での使用に於いてのみ有効です。
 - 本保証書に、メーカー印あるいは販売会社印が無い場合。
- ご不明な点は、メーカーあるいは販売会社へお問い合わせください。